

## 「DX認定企業が選んだ、業務効率化と未来をつなぐ 原価管理ソリューション」

<導入した製品>  
どっと原価NEO ST

原価管理システム  
どっと原価NEO ST

### 株式会社宮下電設

株式会社宮下電設様は、新潟県長岡市に本社を構える、創業70年を超える電気設備工事会社です。地域社会に根ざした事業を展開しながら、SDGs、健康経営、DX推進に積極的に取り組んでいます。

特にDXについてはノーコードツールの活用を中心に推進し、2025年7月には経済産業省のDX認定を取得するなど、業界の中でも先進的な企業です。

#### 導入前の課題

以前はVBベースの原価管理システムを利用していましたが、機能面での制約が多く、操作性にも課題がありました。

VBベースの原価管理システムのようなレガシーシステムは、長年運用されてきた実績がある一方で、以下のような共通課題を抱えやすい傾向があります。

#### 1.機能の制約

- ・業務の高度化や多様化に対応できず、必要な機能が不足。
- ・カスタマイズ性が低く、現場ニーズに柔軟に対応できない。

#### 2.操作性の問題

- ・UI/UXが古く、直感的な操作が難しい。
- ・新人教育や習熟に時間がかかり、生産性を阻害。

#### 3.データ活用の限界

- ・他システムとの連携が困難で、情報が分断される。
- ・データ分析や帳票作成の自由度が低く、経営判断に活かしづらい。

#### 4.保守・運用コストの増加

- ・技術者不足やサポート終了により、維持コストが高騰。
- ・セキュリティリスクや法令対応の遅れ。

こうした状況は、業務効率や生産性の向上を妨げる要因となっています。



### プロフィール

#### 株式会社宮下電設

- 業種: 設備      □売上高: 10億～30億未満
- 作業員数: 31人～100人      □利用形態: オンプレミス
- 住所: 新潟県長岡市      □TEL: 0258-46-7171
- URL: <https://www.miyashita-densetsu.co.jp>

## 導入を決定された要因

宮下電設様が「どっと原価シリーズ」を選んだ理由は次の通りです。

- ・会計システムとのデータ連携が可能で、生産性向上につながる
- ・Excel帳票の設計が可能で、柔軟なデータ分析ができる

レガシーシステムの運用を改善するにあたり、企業が示唆する方向性として以下があります。

### 【示唆される方向性】

- ・クラウド化・モダナイゼーション:最新技術を活用し、柔軟性と拡張性を確保。
- ・データ連携・統合基盤の構築:会計や現場管理など、複数システムを連携させることで業務効率化。
- ・UI/UX改善とノーコード活用:現場担当者でも簡単に操作・カスタマイズできる環境を整備。
- ・DX推進の一環としての基幹システム刷新:単なる置き換えではなく、業務プロセス全体の最適化を目指す。

## 導入後の効果・満足した点

- ・工事台帳や会議資料の作成時間を大幅に軽減し、業務効率が向上
- ・ノーコードツールとの連携が可能で、DX推進に大きく貢献

これにより、現場と管理部門の連携がスムーズになり、データ活用の幅が広がっています。

データを活用し、異なるシステムとの連携を可能とすることで、これまでのような大きなカスタマイズ費用を必要とせず、柔軟でスピーディーな業務改善を実現できます。

## 導入後に期待すること

宮下電設様は、「どっと原価シリーズ」を単なる基幹システムにとどまらず、社内の様々な業務をつなぐハブ的な存在として位置づけています。今後はさらなる業務連携やデータ活用を進め、DXの深化を目指しています。

## まとめ



### 導入前のお悩み

以前はVBベースの原価システムを使っていましたが、機能に乏しく使い勝手も今一つでした。

### ニーズ

- ・会計システムとのデータ連携が可能で生産性向上につながるから。
- ・Excel帳票の設計が可能でデータ分析がやりやすいから。

### 導入後にご満足いただけた点

- ・工事台帳や会議資料などを作成する時間を軽減できた。
- ・ノーコードツールとの連携も可能でDX推進に役立っている。



一ゆとりある企業づくりをサポートする

株式会社建設ドットウェブ

〒920-8203 石川県金沢市鞍月4丁目115番地 金沢ジーサイドビル 3階  
TEL:076-225-8400 FAX:076-225-8407 <https://kendweb.net>

どっと原価シリーズ

検索

